

会 議 録

会議の名称	令和5年度（2023年度）第3回豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会		
開催日時	令和5年度（2023年度）10月27日（金） 10時00分～11時50分		
開催場所	アクア文化ホール2階音楽室	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市活力部 魅力文化創造課	傍聴者数	0人
公開／非公開	公開		
出席者	委員	江口会長 藤野会長職務代理 井上委員 春名委員 水守委員 榎原委員 山崎委員	
	事務局	都市活力部 魅力文化創造課長 林 魅力文化創造課長補佐 小林 魅力文化創造課企画調整係長 石橋 魅力文化創造課企画調整係員 原田、谷川	
	その他	<p>(ヒアリング審査時)</p> <p>豊中市立文化芸術センター 小味洵（豊中市市民ホール等総合館長） 安達（館長） 井上</p> <p>豊中市立ローズ文化ホール 金田（館長）</p> <p>豊中市立伝統芸能館 常盤（館長）</p> <p>株式会社JTBコミュニケーションデザイン 朝田 了徳寺</p> <p>日本管財株式会社 谷川</p> <p>株式会社大阪共立 坂口 川本</p>	
議題	<p>1) ヒアリング審査について</p> <p>2) 評価結果報告書（案）について</p> <p>3) 今後のスケジュールについて</p>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

<事務局：開会・会議資料の確認>

【事務局】

『豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会規則』第6条第1項の規定により、委員会の議長は会長に務めていただくことになっているため、江口会長にお願いします。

【会長】

審議に入る前に事務局に定足数の確認を求める。

【事務局】

『豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会規則』の第6条第2項により「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」とあるが、委員7名のうち全ての委員にご出席いただいているため、本委員会が成立していることを報告する。

なお、前回の第2回豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会議事録は資料1にまとめたため、ご覧いただきたい。

議題1 ヒアリング審査について

【会長】

議題1「ヒアリング審査について」事務局に説明を求める。

<事務局：資料2-1『ヒアリング審査の手法等について』、資料2-2-a『ヒアリング審査時の指定管理者への質問事項 事前調査表』、資料2-2-b『ヒアリング審査時の指定管理者への質問事項 リスト』、資料2-3『ヒアリング審査 シナリオ』に基づき説明>

- ・事前質問内容を取りまとめたものを指定管理者に示し提出されたものが資料5である旨説明。
- ・質問内容が指定管理者の競争上の地位（ノウハウ）に関わるものと指定管理者が判断し、公にしたくないという事項がある場合は、その場で回答せず、別途書面での回答も可とする。
- ・質問に対する回答時間は1件あたり2分以内とする。
- ・ヒアリング審査後、資料2-4『第二期指定管理者制度導入施設の管理運営業務の中間評価』に基づき最終結果を合議決定していく。

【会長】

何か質問等はあるか。

<委員：質問等なし>

【会長】

それでは、ヒアリング審査を始める。

<指定管理者入場>

<事務局>資料 2-1 に基づき説明。

【会長】

自己紹介をお願いします。

<指定管理者：自己紹介>

【会長】

ヒアリングは、資料 2-2-b に沿って進める。

基本姿勢に関し、事前質問 No1 について、回答を求める。

【指定管理者】

施設ごとの方針は定めてはいないが、市民ホール等指定管理としては第二期提案の中で基本方針「目指すべき姿」を定めている。多様で魅力あるまち「豊中」の文化芸術を次代につなぐ、創造発信拠点になることをあるべき姿として位置付け取り組んでいる。それを実現するための基本方針を3つ設けている。1つめが「多彩な文化芸術事業の提供・次代の地域人材を支える人材育成の重点的な取り組み」である。2つめが、社会包摂機能として、すべての人にやさしく誰もが参加できる事業運営と施設サービスの提供。3つめが、プロパティマネージメントの視点と施設運営を通じた地域活性とにぎわい創出。これらを柱として掲げ取り組んでいる。

【会長】

包括的な説明は承知した。質問の意図としては、文化芸術センターにて行われる事業はクラシック志向であり、伝統芸能館では伝統芸能事業を重んじるというように、各施設の色があると思うが、各施設においてどのような運営をしたいと考えているかがわかりやすく明示されればよいということである。

【指定管理者】

ソフトにかかる考え方はプロデューサーより回答するが、各施設の特性を活かすことについては、文芸センターでは大規模な舞台芸術に応えられる劇場機能を活かした作品を提供することを心掛けている。伝統芸能館では、伝統芸能の振興と普及に資する事業を提供する。ローズ文化ホールは、南部地域活性化構想の推進を担う施設として南部地域活性化のハブと

なるようアウトリーチプログラムをはじめとした様々な事業を提供している。施設の持ち味を活かし個性のある事業を提供していく方針を持って取り組んでいる。

【会長】

基本姿勢については以上とする。

次に、人材育成・ボランティア組織コーディネーター事業に関し、事前質問 No2 について回答を求める。

【指定管理者】

状況としては、レジデントアーティスト4名、レジデントアーティスト修了者5名。市民アートコーディネーター育成プログラムには21名の市民が在籍している。市民アートコーディネーター育成プログラム修了後の受講生の活動計画サポート面に課題があると認識している。

令和5年度においては、市民アートコーディネーター育成プログラム修了者のうち2名の企画を実施するよう進めている。

今後の方向性としては、現状のプログラムを継続しつつ、豊中市のアート人材の柱として定着すること、認知度を高めること、地域で自走していくことをサポートする体制を整えることを考えている。

レジデントアーティスト育成のためには、しっかりとした育成プログラムを組むこと、なによりスタッフとアーティストの信頼関係の構築、コミュニケーションが重要と考えており、スタッフはアーティストと密に連絡を取り事業に参画している。アーティストは“消費するもの”ではなく“共に地域を活性化していくチームの一員”として活動していただくことを念頭に置き、新しい人材が生まれることを期待しつつ進めていきたいと考えている。

【委員】

助成金実績一覧に記載されているとおり、人材育成事業は助成金を受けている。外部評価としてプラスに働く資料であるため、自己評価報告時に合わせて提出いただければと考える。

人材育成に関するパンフレットも作成されているが、誰が、いつ、どこで等の情報を一覧にまとめたものを資料としていただければ評価しやすい。

懸念としては、各アーティストが扱う楽器が異なるため、一緒に演奏する企画などは実行困難ではないかと感じるが、人材育成事業を進めるうえでその点をどう考えるか。

【指定管理者】

報告資料については年間報告書にて実施状況報告はしているが、カテゴライズして一覧として提出するといった工夫ができていなかった。今期以降整えていく。

楽器の違いによる公演実施については、本プログラムにて重要視しているのが、アーティスト同士、アーティストとコーディネーターなど、参加者同士のコミュニケーションである。実際に、登録アーティスト4名のピアニストによる2台8手ピアノの公演を行ったり、アー

ティスト自らが公演を一から企画し、ピアニスト2名、サクソ、サクソの伴奏者という編成を試みたり、自走し始めている。アーティストの相性があるため懸念もあったが、協力しあって進められていると感じている。

【委員】

ぜひ継続していただきたい。

【委員】

(事前質問 No4 に関連するが) 学生のアートマネジャーの育成 (インターン) について、継続するなかでブラッシュアップされている。画一的でなく学生の特性に沿うよう内容を考案されており、充実していると感じる。

一方で、特定の人に負担がかかってしまうような属人的な状況に陥る側面もあると考える。文化芸術活動における人材育成は喫緊の課題であり当該プログラムを継続するうえでの今後の抱負をお聞かせいただきたい。

【指定管理者】

大学連携を含めた人材育成プログラムについては、指定管理事業において重要な位置づけにあり、産官学連携が求められているなかで、今後も継続して取り組んでいく。インターンシップに関しては、現状としては大阪音楽大学、神戸大学、芸術文化観光専門職大学、京都芸術大学、コンソーシアム大阪などから受け入れを行っている。アート人材育成事業への対応は特定の職員を中心とした属人的な取組みとなっていることは否めない面はあるが、組織として全体の共有をどこまで進められるか、組織全体でインターンシップを受け入れる体制を確立できるよう鋭意努力する。

その他事業を含め人材育成事業については現行レベルでの提供を続けていく所存である。

【委員】

特定の職員がいるから成り立つではなく、組織としての業務として位置付け継続していただきたい。

【会長】

人材育成・ボランティア組織コーディネート事業については以上とする。

鑑賞事業について、事前質問 No5 について回答を求める。

【指定管理者】

関連して、事前質問 No3 のアートマネジメント講座とコーディネーター人材育成についてもあわせて回答する。

当該プログラムを計画する際に適正な参加者数については慎重に検討した。現在の人数に至った経緯としては、参加者同士、参加者と講師、参加者とアーティストそれぞれがコミュ

ニケーションを取り合いながら学び、さらにステップアップしたい希望者に向けて市民アートコーディネーター育成プログラムを設けている。この流れを考慮し 20 名が最適格であると判断した。

アートマネジメント講座はあくまで入口であるため、興味がある方であれば誰でも参加可能としており、次に進みたい方向けに市民アートコーディネーター育成プログラムを実施している。毎年 8 名程度の方が市民アートコーディネーター育成プログラムに進まれている。地域の街歩き形式のリサーチプログラム、企画制作ワークショップに取り組み、最終的に自身で企画を作り実施する、という構成になっている。

引き続き、鑑賞事業に関し事前質問 No5 について回答する。

多種多様な文化芸術の提供をめざしており、その中でパートナーシップ協定にある日本センチュリー交響楽団の出演公演を主催公演プログラムの柱のひとつと位置付けている。年 4 回のセンチュリー豊中名曲シリーズ、室内楽公演、団員によるリサイタルシリーズが柱となっている。

それにあわせて鑑賞事業としてトップレベルの舞台芸術に触れる機会を提供することを念頭に、多種多様なパフォーマンスアーツ、ビジュアルアーツのプログラムを加えて事業展開していく所存である。とよなかアーツワゴン公演についても、人材育成事業普及型事業として連携したコンテンツを創造し、発展性を持たせる形で魅力ある鑑賞事業を作っていく。

【委員】

実施した事業について調査したり、事前に市民ヒアリングを行ったりした結果を踏まえたうえで、企画制作を行っているのか。

【指定管理者】

公演ごとに実施するアンケートや、その他の場面で市民から寄せられる意見がある。すべてに応えることは困難だが、いただいた意見を取り入れられるよう検討し企画制作を行っている。

【会長】

事前質問 No6 について回答を求める。

【指定管理者】

センチュリー豊中名曲シリーズについては、現状の方向性を継続する想定である。オーケストラによる名曲演奏会という枠組みは守りつつも、物語やビジュアルイメージを使った多面的な取り組みを加えて、これまでにない名曲コンサートをめざしている。集客においても、オーケストラ以外に関心を持つ方の参加も求めるものである。来年度に関しては全体のテーマを「あゆみ」とし、指揮者に豊中市出身の出口大地氏、松本宗利音氏を招聘しそれぞれ公演を行う。そのほかベテラン指揮者陣に加えフレッシュなソリストを加え、公演を提供する。

「豊中ゆかりの音楽家」として、前田妃奈氏のバイオリンリサイタルを予定している。2022年に開かれたヴェニャフスキ国際バイオリンコンクールで優勝され国際的な注目を集めた若手バイオリニストで、国内外で活躍されている。地元豊中市への凱旋公演となるため、市民に向けた魅力発信を行うことができると考えている。そのほか鑑賞事業として、トランペット奏者のラインホルト・フリードリヒの提唱で結成された金管五重奏団「ユナイテッド・ユーロ・ブラス・クインテット」の公演を来年度に予定している。

課題としては、このようなトップレベルの文化芸術を鑑賞する機会が存在していることを、どのように市民に知らせていくか、であると認識している。より明確な豊中市の特色を打ち出した事業計画を策定していく。

【委員】

センチュリー豊中名曲シリーズは豊中市独自のプログラムであり非常に評価できる。

【会長】

事前質問 No7 については、一覧にまとめて提出いただいた。

【委員】

人材育成に関する助成金は獲得されているが、鑑賞事業に関しても助成金は申請されているか。

【指定管理者】

活用できている助成金は人材育成（一般社団法人地域創造）が中心となっている。文化庁創造拠点事業補助金を活用することが望ましいが、申請はするものの採択に至っていない現状である。

【委員】

採択されるに値する取組みをされていると感じている。

【会長】

事前質問 No8 について回答を求める。

【指定管理者】

ご指摘のとおり、豊中市の立地やマーケットを考慮したうえで、認知度の高い人気アーティストを起用した事業は優先順位を下げていることは事実である。一方で、事業展開ブランディングが確立されているかと問われると、至らない点もある。より多くの市民への事業内容の浸透に取り組んでいく所存である。劇場の個性として設定している事業展開を市民にいかにか知らせるか、より多くの市民に足を運んでもらえる劇場をつくるか、豊かな文化を育む施設となるよう鋭意努力していく。

【会長】

事前質問 No9 について回答を求める。

【指定管理者】

多様な文化の提供を念頭に、足を運んでもらえれば豊かな文化芸術に触れられるということを知り、興味を持ってもらう工夫をいかに事業に盛り込んでいけるかを検討し、事業計画立案に取り組んでいく。

【委員】

日本センチュリー交響楽団の音楽監督が久石譲氏になることは功罪相半ばという部分もあるが、財政基盤が脆弱な当該交響楽団が再生する見込みがある側面については期待する。

今後の展開として、久石氏のネームバリューによる集客を入口として、さらにクラシック音楽の深みに入ってもらう狙いがあるのか。

過去の他事例を振り返ると、今回のような久石氏が当該交響楽団の音楽監督になるというひとつの転機は豊中市にとって良い機会であると同時に、ポピュリズムに走ってしまう懸念もあるように感じる。文化政策の根幹に関わる大きな方針決定になるといえるが、どう考えるか。

【指定管理者】

令和7年度（2025年度）から久石氏が音楽監督に就任することとなっているが、ジブリ関連だけでなく久石氏ご自身の作品も含めたコンサート展開を考えていると、当該交響楽団からは伺っている。今後、演奏会を続けていく中でジブリだけではない方向性が生まれることを期待し、配慮しつつ事業製作を進めていく所存である。当該楽団とのパートナーシップ協定の重要な要素であるため、豊中市指定管理者としての方向性を失わず、事業展開していければと考えている。

【委員】

集客力がある公演がある一方で、尖鋭的な室内楽公演を行ってバランスを取るという方法もある。

【指定管理者】

豊中名曲シリーズは指定管理一期目からの試金石だと認識している。この事業の成果が多方面に波及していくことを期待しており、第一期スタート時には“文化芸術センター大ホールの客席1300席を豊中市民で埋めること”を目標に掲げた。コアなターゲットは豊中市民であると認識している。豊中市民で客席がいっぱいになる公演を目指していく。

【会長】

豊中市出身のアーティストの公演を中心とすることは非常に良いことだが、さらに箕面市や吹田市など北摂地域全体のアーティストを念頭に置いてみてもよいのではないか。豊中市民が客層のターゲットだとして、豊中市民がよく知っているアーティストは豊中市以外にもいる。

【指定管理者】

日本センチュリー交響楽団は北摂地域における文化芸術の資産である。“北摂地域のオーケストラ”という出し方も効果的かとも考える。

【会長】

鑑賞事業については以上とする。

友の会事業に関し、事前質問 No10 について回答を求める。

【指定管理者】

友の会事業が2年続けて会員数目標値未達との結果である。目標値1000人は、人口比率で考えると決して高過ぎる目標値とは思わない。他施設では、東広島市(20万人都市)で友の会登録者1400人(人口比率0.7%)、兵庫県三田市(11万人都市)で友の会登録者1300人(人口比率1.2%)、豊中市(40万人都市)で友の会登録者800人(人口比率0.2%)という状況である。

ただ、一般的には都市部のホールは選択肢がたくさんあり、有料会員への訴求が難しい面がある。パッケージ型の会員制度についても今後検討していくことを視野に入れている。他市事例(富山県)では、音楽友の会として音楽公演に限り年間決められた分の公演を鑑賞できる制度もある。文化芸術センターだけではバラエティあるプログラムを組むことが現状できておらず、音楽友の会を参考に、新たな制度を組むことも検討していく。

参考として、豊中名曲シリーズのシーズンチケット購入者は136人で、クラシックファン(日本センチュリーファン)が多数だと認識しているが、この数値では友の会事業1000人の登録に至るのは難しい。

なお、オンライン会員(週1回メルマガ配信)登録者数は4,800人である(無料)。無料会員から有料会員への移行をめざしてアプローチを行っているが、伸び悩んでいる。来年度に向けては抜本的な制度設計を検討し改善していきたい。

【会長】

オンライン無料会員のチケット購入状況は把握しているか。

【指定管理者】

直近の状況は集計していないが、把握する方法はある。

【会長】

有料会員は割引があったはずだが、無料会員には特典はないのか。

【指定管理者】

ない。

【委員】

豊中名曲シリーズのシーズンチケット購入者は136人とのことだが、当日は会場に1000人近く来場していることから、鑑賞事業の内容は高く評価している。国民性として、鑑賞する対象がジャンルごとに分かれる傾向にある（クラシック、バレエ、演劇など）が、境界を越えて流動的に様々なジャンルの文化芸術を楽しむ市民を増やすことが、地域に密着した公共文化施設の運営において重要ではないかと考える。演劇についても、関心を持っている市民は潜在的にいると思われるため、観客数を増やす取組みができないか。

【指定管理者】

令和6年2月に、幻灯劇場と日本センチュリー交響楽団団員が共演するオリジナル演劇を製作中であり、文化芸術センター展示室で実施する予定。ミュージカルは年間数本実施しているが、ストレートプレイ演劇はほぼできていない。潜在的な観客との接点作りができていない実状である。ローズ改修を控えていることもあり、施設機能を活かしたプログラムの検討が必要と認識している。

【委員】

“文化芸術のジャンルを超えて鑑賞する”という観点においては、びわこホールには劇場サポーターがおり、各ジャンルに対する熱烈なファンがいて、相互に刺激しあっている。参考にしてみてもよいかもしれない。

【会長】

友の会事業については以上とする。

人員配置等に関し、事前質問 No12 について回答を求める。

【委員】

運営部門において、無期契約は1名か。

【指定管理者】

勤務施設及び事業を問わず期限の定めのない職員は1名（JCD社員）。施設を限定し無期雇用職員は13名。指定管理者制度開始当時は有期契約職員が中心だったが、現在はこのような状態である。

【会長】

人員配置等については以上とする。

福利厚生・労働安全衛生制度に関し、事前質問 No13 について回答を求める。

【指定管理者】

JCD、日本管財株式会社、株式会社大阪共立の各社で規定が異なる。JCD としては内部通報制度規程を設けている。日本管財株式会社としては就業規則で規定している。あわせてヘルプライン窓口を従業員に示し、執務室内にも掲出するなど、仕組みは整えている。

【委員】

周知方法・対応状況について、よく理解できた。日本管財株式会社のほっとラインに関する案内に記載された“具体的な相談事例”は、実際に起こったことか。例示か。

【指定管理者】

相談しやすいよう例示している。

【委員】

このように記載してもらえるとわかりやすい。

【指定管理者】

研修取組状況としては、当初計画に則り履行できている。一部未実施のものはあるが、計画通り実施していく。

【会長】

福利厚生・労働安全衛生制度については以上とする。

事前質問 No14 については、一覧にまとめて提出いただいた。

事前質問に関する質疑応答は以上とする。

意見はあるか。

【委員】

JCD の財務状況について、財務基盤はしっかりしていると思うが、前期の決算書に計上された受注損失引当金に関し、状況の変化はあったか。

【指定管理者】

当該引当金は電力販売事業に関するものである。大型の仕入れを想定していたがうまく進まず、光熱費の高騰もあることから当該事業における損失が予想されるため当該引当金を計上している。対応策を検討している。

【委員】

現在検討進行中ということで、影響に関しては最終的に当期の決算書で確認させていただく。

【会長】

その他、質問等はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

以上で、ヒアリングを終了する。

<指定管理者、退室>

【会長】

ただいまより、ヒアリングの結果を踏まえた審査を行う。

<事務局より資料 2-4 の説明>

【会長】

書類審査にて保留となっていた評価項目について、審査する。
人材育成・ボランティア組織コーディネート事業について、意見はあるか。

【委員】

公益財団法人ではなく民間事業者が指定管理を行っている施設のなかでは、当該事業は非常に優れた魅力的な内容であり、評価 A が適切と考える。

【委員】

助成金活用状況から判断しても、評価 A がふさわしいと考える。

【委員】

一方で、実際の人員配置について、指定管理期間が区切られているため、その限りでの常勤という位置付けとなる。指定管理事業者が変わると同時に職員も変わることが起こり得るが、その場合に当該事業を、質を保ちつつ継続できるのか懸念がある。指定管理者制度の根本的な課題だが、地域に対する人材育成事業を行う指定管理事業者自身が自組織の人材育成に取り組む必要があり、不安定であることは否めない。

現時点での評価を下すにあたっては、非常に優れた事業であるといえるため、評価 A を主張する。

【会長】

ヒアリングの内容を踏まえて、評価 A でよいと考える。
その他に意見はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

当該評価項目は、評価 A とする。
次に、鑑賞事業について、意見はあるか。

【委員】

ヒアリングの内容を踏まえて、評価 A でよいと考える。

【会長】

評価 A でよいと考える。
その他に意見はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

当該評価項目は、評価 A とする。
次に、友の会事業について、ヒアリングにおいては会員数が少ないことの改善策が具体的に示されなかったが、意見はあるか。

【委員】

優れた事業を継続して実施していけば会員数は増加していくものと考えている。

【委員】

オンライン会員登録者数が 4800 人であり、昨今の訴求方法としてオンラインは主流であることから、周知は十分できていると思える。しかし、友の会会員数だけをみると少ないことは否めない。

【委員】

友の会とは、劇場のサポーターとなり自発的に活動し支えてくれる人たちの集まりである
と考える。そのような状態に至るために、友の会会員のモチベーションをコーディネートす

る工夫を望む。現状では不十分と言わざるを得ない。

【会長】

事業がさらに広がり充実していけば会員数は増えていくものと思うが、改善の期待を込めて評価Cと考える。

【委員】

事務局として、評価はBが標準と考えているのか。

【事務局】

基本的な基準をクリアしていればB、基準に満たなければC、特筆して良ければAである。

【会長】

会員数に達しておらず、具体的な改善策が明示されなかったことから、当該評価項目は、評価Cとする。

次に、自由提案事業について、意見はあるか。

【委員】

第一期では音楽祭の誘致などの計画があったが実施されなかった。今期の自由提案事業の主な事業はなにか。

【会長】

自由提案事業の主な内容はなにか。

【事務局】

人材育成事業、社会包摂型の取組みに注力している。

【委員】

提出された自由提案事業一覧の内容を踏まえ、評価Bでよいと考える。

【会長】

当該評価項目は、評価Bとする。

【委員】

福利厚生・労働安全衛生制度の項目について、提出された資料は法律に基づいて問題なかったが、特筆した点がないことから評価Bとなる理解でよいか。

【事務局】

法律に基づいて問題がなければ評価 B、それに加えて優れた取組み（一例として有給休暇制度や育児制度の充実など）がみられれば評価 A となる。

【委員】

国の労災規程に加えて別途労災制度に加入していた事業者もあったが、3社すべてではないことから、総合的に鑑み、法律に基づき問題がなかったとし評価 B となる、という結論でよいか。

【事務局】

問題ない。

【会長】

その他、意見はあるか。

【委員】

財務面に関しては、受注損失引当金については損失のさらなる悪化が見込まれるような回答はなかったため、現状から判断するに問題ないと考える。

【会長】

その他、意見はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

以上、保留だった評価項目について評価は確定した。

<事務局より、各評価項目について審査後の評価を一読>

【会長】

事務局より各評価項目の確認があったが、齟齬なく、総合評価 B としてよいか。
なにか意見等はあるか。

【委員】

指定管理事業者が変わった場合、雇用されていた職員は解雇となるのか。

【委員】

雇止めとなる。会社として、以後の雇用についての便宜を図る努力はしてもらいたい。

【委員】

あるいは次の指定管理事業者での雇用交渉など。

【委員】

雇止めとなることがほとんどといえるが、培ってきた経験やノウハウが途絶えてしまうため、人材育成の観点では指定管理者制度は不向きといえる。

【委員】

他事例では、指定管理期間は10年になったものの雇止め期間は5年のまま、という状況もある。この場合、被雇用者としては無期転換規定を活用する方法もある。

豊中市においては、指定管理事業者の実績を鑑み、事務局が適当と判断するならば、指定管理期間を10年にしてはどうか。

【事務局】

令和6年度末に次期指定管理者選定内容を固めていくが、期間を8年～10年に延ばす方向で検討している。

【委員】

期間が延びることで良い人材が集まりやすくなることが見込める。

【会長】

その他、意見はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

以上で審査を終了とし、各評価項目及び総合評価が確定したものとしてよいか。

<委員：意義等なし>

【会長】

議題1について、以上とする。

議題2 評価結果報告書（案）について

【会長】

議題2に入る。

<事務局より、資料3に基づき、中間評価結果報告書（案）について説明。ヒアリング及び審査の内容を反映させ、後日確認いただいた後、第4回委員会にて確定とする>

【委員】

助成金を活用していることは報告書に記載すべき。

【事務局】

承知しました。

【会長】

その他、意見はあるか。

<委員：意見等なし>

議題3 今後のスケジュールについて

【会長】

議題3に入る。

<事務局より、資料4に基づき、今後のスケジュールについてについて説明。11月27日（月）に第4回選定評価委員会を行い、報告書の確定及び答申を行う>

【会長】

説明に対し、意見はあるか。

<委員：意見等なし>

【会長】

本日の案件は全て終了した。

令和5年度（2023年度）第3回豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会を閉会する。

（資料の持ち帰りは任意とした）